

100V電源と200V電源について

単相 100Vは一般の家庭用電化製品の電源ですが、家庭用単相 200Vというのは、例えば家庭用エアコンや電磁調理器の電源として使用されているものです。

陶芸用電気窯の場合、本焼成で 1250℃前後の温度が必要ですので、一般的に単相 200Vまたは三相 200Vという電源が使用されています。

三相 200Vはいわゆる動力といわれるもので、使用電気料金は安くなりますが基本料金が高いですので、既に三相をご契約されている場合や焼成頻度がよほど高い場合を除きあまりお勧め致しません。

最近では単相 100V仕様の窯も出ていますが、大きさに制限があります。また、仮に 100Vで内容積が大きい窯があったとして果たして、本焼きの焼成温度まで充分あがるかどうか疑問もあります。

ある程度の大きさが確保でき、安心してご使用いただけるのは単相 200Vです。経済的にもこれがいいと思います。

単相 200Vの窯を設置される場合は、単相 200Vの電源はほとんどのご家庭の元電源までは配線されていますので、元電源から窯の設置場所までの配線工事が必要です。弊社の窯の場合はその線を窯に直結します。

窯の電気容量によっては、現在の契約容量を増やさなければならない場合もありますが、これらの工事は電気工事店がやってくれます。